



家電リサイクル工場見学バスツアーを開催します

～使い終わりから始まる家電リサイクルの世界へ～

エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の4品目の家電は、処分する際にリサイクル料金が必要です。「家電には有用な資源が多く含まれていると聞けど、せめて無料で引き取ってくれないの?」、「引き取られた家電はその後どうなるの?」などと、考える方は多いのではないのでしょうか?

使い終わり、皆さんの目に触れなくなってから始まる家電リサイクルの世界。産業の静脈を見に行きませんか?

ツアー概要

- 【日 時】 平成27年11月19日(木) 12:50～17:00
- 【対 象】 一般消費者(安全のため、小学生以下のお子様のご参加は不可)
- 【定 員】 25名(先着順)
- 【参加費】 無料(札幌第一合同庁舎までの交通費は各自負担)
- 【内 容】 株式会社鈴木商会の発寒リサイクル工場及び石狩リサイクル工場の見学を中心に、家電リサイクルの仕組みや企業の取組等についてご紹介いたします。
- 【主 催】 経済産業省北海道経済産業局
- 【共 催】 環境省北海道地方環境事務所

詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokni/20151009/index.htm>

■申込方法【締切:11月9日(月)17時】

以下(1)～(5)についてご記載いただきFAXまたは電子メールでお申込みください。

- (1) 氏名、(2) 自宅住所、(3) 職業(勤務先)、(4) 自宅電話番号
- (5) 当日連絡可能な電話番号(携帯電話等)

FAX: 011-726-7474 電子メール: hokkaido-kankyorecycle@meti.go.jp

<担当: 環境・リサイクル課>

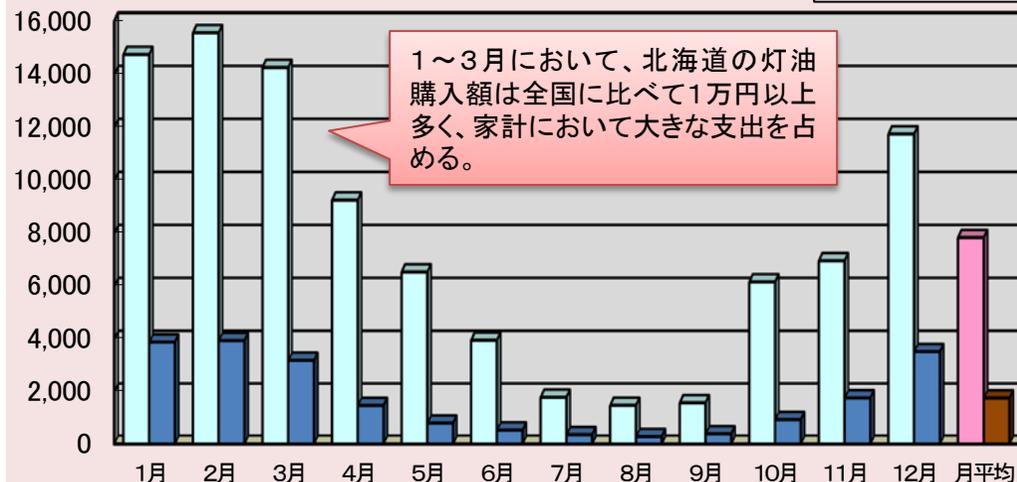
グラフで見る石油・ガス2015を作成しました

「グラフで見る石油・ガス2015」は、石油製品等の需給状況などを分かりやすくグラフでまとめたものです。

灯油の世帯あたりの年間購入額等を北海道と全国と比較するなど、北海道の特徴を一目で捉えられる資料となっております。

【掲載例】平成26年度 家庭用灯油の世帯当たり月別購入額

(単位:円)



1～3月において、北海道の灯油購入額は全国に比べて1万円以上多く、家計において大きな支出を占める。

以上のほか、原油価格と石油製品価格の推移など、様々なグラフが掲載されています。

下記URLから、ぜひご覧ください!

http://www.hkd.meti.go.jp/hokno/graph_oil2015/index.htm



<担当: 資源・燃料課>

エネちゃんの省エネハウスを出展しました
 ～ご家庭で簡単に取り組める省エネ・節電のヒントを満載！～

経済産業省北海道経済産業局では、札幌市、釧路市及び旭川市で開催されたイベントに、省エネ・節電ブース「エネちゃんの省エネハウス」を出展しました。省エネ・スマホアプリの紹介やエネルギーに関する実験セットの実演、省エネ・節電についてのパンフレットの配布等を行ったほか、イベントのステージショーにおいて、お笑い芸人による省エネコントやクイズを行い、親子等に広く家庭向けの省エネ・節電の普及啓発を行いました。
 本ブースには、3会場で約8,500人の来場がありました。

【出展イベント】

- OHTBイチオン！まつり2015
 場所：ケーズデンキ月寒ドーム外会場テントブース（札幌市）
 期間：9月4日～6日
- 第12回釧路大漁どんぱく
 場所：釧路市観光国際交流センター前庭（釧路市）
 期間：9月4日～6日
- 北の恵食べマルシェ2015
 場所：旭川市常盤公園（旭川市）
 期間：9月19日～23日



当局的省エネキャラクター「エネちゃん」

【省エネハウスの外観】



【省エネコントの様子】

<担当：総合エネルギー広報室>

エネルギーに関する実験セットの貸出事例

環境広場さっぽろ2015で実験セットを活用

- 1. 日時：平成27年7月31日（金）～8月2日（日）
- 2. 場所：アクセスサッポロ
- 3. 主催：札幌市、一般財団法人札幌産業流通振興協会、北海道新聞社、日本工業新聞社北海道支局

4. 概要：
 「環境広場さっぽろ」は、東北以北で最大級の総合環境イベントとして、今年で18回目を迎えています。今年度の来場者数は親子連れを中心に約3万人でした。札幌市環境局エコエネルギー普及推進課では、再生可能エネルギーに関するパネル展示やクイズの実施、当局の水素燃料電池カー実験セットを使った実験コーナーを設置しました。



「2015 サイエンスパーク」で実験セットを活用

- 1. 日時：平成27年8月5日（水）10時～15時30分
- 2. 場所：札幌駅前通地下歩行空間 北3条広場
- 3. 主催：北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構
- 4. 概要：

豊かな北海道の未来を創る科学技術の振興を図るため、未来を担う子ども達が科学技術を、身近に体験し学ぶ機会を提供するため開催しました。当局の手回し発電機実験セット等により、保護者も含め、広く科学技術に対する理解を深めてもらいました。また、主催者をはじめ各参加機関における取組や事業のPRを行いました。来場者数は、589名でした。



エネルギーに関する実験セットの貸出し方法、条件等の詳細は、下記URLをご覧ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokns/lend/index.htm> <担当：総合エネルギー広報室>